

地域課題アンケートにおける意見等

地区	担当	意見・要望等	回答
大竹 油見 ・ 新町	A班	<p>近年異常降雨の頻度が増してきており、埋め立て開発により得た低地の市内は広く浸水の危険にさらされています。治水事業は大竹市の一番の課題と考えます。</p>	<p>A班の地区別課題の資料をご参照ください。</p>
		<p>新町ポンプ場の早期完成を求める声が大きいは周知のとおりです。しかしながら、用地買収など課題も多く、その完成には、何十年先になるかわかりません。そのため、新しい視点での取り組みが必要です。そこで、水害対策を早期に進めるため、新町ポンプ場2期工事案を考えました。その取り組みの推進を要請します。 小瀬川水系河川整備計画を精査し、現地調査の結果、新町2丁目、新町3丁目（新町2丁目側一部）、南栄1丁目の小瀬川堤防は、構造の古いままの土堤防で、浸水対策、高潮堤防、耐震対策が必要であると分析しました。この地域の堤防の整備を望む地域住民の声も大きく、上記の対策を施した堤防を施工すべきであると、小瀬川管理事務所に要請すべきです。</p>	<p>地元関係自治会より陳情が提出されており、市議会としても採択していますので、市議会としても新町ポンプ場についての現状や課題の認識を行っていくこととしています。 また、頂いた意見や資料は執行部へお伝えします。</p>
		<p>水質調査結果について</p>	<p>大竹市では市調査地点1、県調査地点11の計12地点で調査し、結果については大竹市環境白書に掲載しています。</p>
		<p>中市線の照明が暗いので増やしてほしい</p>	<p>道路照明は、市営外灯として扱われています。現在市内には2236基設置されており、923基（約41.3%）がLED化され、40m以上を基準として設置されています。市営外灯の増設については、防犯灯設置補助金交付要綱に基づき、自治会等の負担により設置をお願いしています。</p>
川手		<p>駅前油見線とはどこからどこまでのことですか？事業計画道路の計画化について現況と予定について詳しく教えてください。</p>	<p>都市計画道路駅前油見線は、大竹駅から山手に向かって中市立戸線までの延長380m、幅員16mの道路です。現在、大竹駅を起点に約230mが整備済みです。重要路線と認識していますが、未整備の区間について、現在実施の予定はありません。</p>
		<p>前飯谷簡易水道の今後の維持管理について ①水源地（河川）から簡易水道タンクへの水流入不足 ※埋設管上部砂利が大雨等により流出（修理必要） ②高齢化により役員が少人数となり維持管理の負担増 ※塩素調整頻度UP（点検）…等将来について不安有ります。</p>	<p>大規模改修については補助金等を活用してきた経緯がありますが、基本的には組合による維持管理をお願いしています。</p>

地域課題アンケートにおける意見等

地区	担当	意見・要望等	回答
立戸 ・ 御園台 ・ 御園	B班	行政で自治会への入会を促す事は可能か？	自治会入会のPRはホームページで紹介しており、また、市民税務課の窓口で資料も配布しています。令和3年度には、自治会活動ハンドブックを作成しておりますのでご活用ください。 なお、現在、大竹市の自治会は68あり、加入率は78%となっています。
		立戸4丁目烏帽子新開水路内の残砂及び除草を数年に一度、市で実施してほしい。土砂が溜って、草が繁ってゴミが溜ります。自治会で実施がこれからは高齢者が多く困難になります。	市内のメイン水路の維持管理については、従来、地域住民の方をお願いしていましたが、高齢化が進む中、危険を伴う場所は、状況を見て、市の方で、対応を検討させていただきますので、担当課にご相談ください。
		市議会の定数は妥当か？	2年前の市議会一般選挙が無投票となったことを踏まえ、議会改革特別委員会において、議員定数の適正化について、今後結論を得る予定です。
		大河原公園？の現状について、今後開発するのか？	現在、大河原山公園の13.7ヘクタールのうち、88%が用地買収済みです。その範囲で、出来ることから環境保全の整備（見晴し台・駐車場・園路・倒木の処理等）を行っています。今後については、全体公園整備計画はできていません。
		JR（仮）小方駅の見通し	平成29年3月、まちづくり基本構想策定には新駅設置は位置づけられていますが、現在、大竹駅の整備を先行しているため、この完了後に改めて設置にむけて取り組んでいく考えです。
		「大竹市を含め御園台地区の災害対策について」 ○御園台から斎場への登り道路（ゴミ集積第4ステーション）の崖が崩れる危険性があり、市の都市計画課の方にも伝えてあります。 大雨・積雪による側溝の水の氾濫等による交通遮断、小中学生の登下校への影響が懸念されます。 ○御園台地区には老人集会所がありません。他の地域では自治会館と老人集会所が設置されていますが、今後、御園台自治会においては高齢化が進んでいく状況の中で「市の高齢者対策について考えを伺う。」	○ご指摘の崖面の危険な倒木については処理済です。 大雨が想定される時は、土木課においてパトロールして状況を確認し、適切に処理をしています。その他ご気づきがあれば担当課にご連絡ください。 ○老人集会所は、平成3年に御園台老人集会所として補助金申請され、現集会所内に、共用整備されています。また、今後の改修及び維持管理上必要があれば、補助金交付要綱がありますので、担当課にご相談ください。
栗谷 （ 広原 ・ 谷尻 ・ 谷和）		広原地区は昔から公共交通（バス路線）が無く、ほぼ全員が運転免許を取り、自家用車を購入し、病院、通勤、買物等しています。現在、市からの助成でタクシーの利用が年35万円内で利用出来ていますが、現在は利用する人が少なく、市の方からは金額を下げる方向にあります。あと5～6年先には高齢化が進み、利用者が増えると思います。その時の市の助成金がどうなるのかが心配です。	B班の地区別課題の資料をご参照ください。
		主要道路の舗装問題	大迫谷尻線の路面補修等の対応については、随時、担当課の方でパトロールや情報提供を受け補修対応しています。
		米軍機騒音	艦載機が2018年3月に移駐完了後、大竹地域に対する航空機騒音は、あきらかに増大していることは認識しています。特に米軍岩国基地に近い阿多田島周辺では、もっとも大きな騒音測定値を記録している状況が続いています。合わせて大竹地域全体の騒音状況が懸念されていますので、引き続き、注視していきます。

地域課題アンケートにおける意見等

地区	担当	意見・要望等	回答
阿多田		最近、米軍の騒音が特にひどい。阿多田区民はこのまま辛抱し続けなければいけないのか。	栗谷地区（上記）の回答をご参照ください。
		島民の大きな悩みは米軍機による騒音問題と野猪被害があると思います。米軍機の騒音は朝8時前後から夕方20時前後まで大きな爆音で飛行し、各家庭とも大きなストレスとなっています。野猪については、現在かなりの頭数があると思われ、農作物も被害を受けており、島一周の農道をウォーキングしていた人も怖くて止めているとのこと。	農作物を野猪から守るために、市では柵の購入費の補助をしています。詳しくは担当課にお尋ねください。
玖波 ・ 玖波町 ・ 湯舟	C班	恵川の清掃、横断歩道の再点検、溝の清掃	令和3年度に恵川を含む河川水路の浚渫工事を予算計上しています。
		恵川大橋から2号線まで道路の幅を広げを検討してもらいたい。JRの踏切で歩行者が通行するのが困難です。幅を広げてほしい。	県道なので県が道路拡幅踏切改修の方向で準備しています。JRとの調整があり、具体的な時期は発表していません。
		「JR玖波古新開第一踏切」（玖波駅の岩国方面の踏切）に人道歩道を作っていただきたい。朝夕のラッシュ時には、自動車の往来が激しいため、人は線路内を横断しており何時か事故が起きるか心配しています。自動車の運転も人身事故を起こさないよう気をつけて踏切を渡っています。	
		当自治会を通る県道43号線は幹線道路で唯一の避難道路でもあります。この道路を横断する小河川が洪水により氾濫し、避難不可になる可能性が高く改修をお願いしたい。	具体的な場所や河川名が分かり次第、調査します。
		湯舟町から避難場所や避難所への道のりが長い	「自分の身は自分で守る」が鉄則です。避難指示が出たら早めに避難してください。なお、避難所に行くことだけが避難ではありません。安全な場所に避難してください。
		防災無線の難聴対策	大雨のときは、多くの場所で防災無線は聞き取りにくいのが現状です。その場合は、電話「0120-590-131」で確認してください。
		高齢者地域の自主防災対策	各地区で防災リーダーを決めて、対応しているようです。
私有地山林の落ち葉対策	自治会から地主にお願いしてもらったら如何でしょう。		
		自治会活動における災害補償金の増額について	大竹市では、自治会活動を含む市民活動には「大竹市民総合災害補償規則」に定める補償制度を用意しています。現行は、一例として死亡補償は500万円ですが、増額については考えていません。